

2010 年度(社)日本動物学会近畿支部研究発表会

日 時 : 2010 年 5 月 29 日 (土) 13:30 ~ 17:00

場 所 : 大阪大学豊中キャンパス理学部本館 3 階(D303)

(〒560-0043 豊中市待兼山町 1-1)

講演 : 16:00~16:15 久保田 信(京大・フィールド科学教育研究センター)

ベニクラゲ(刺胞動物門, ヒドロ虫綱)の生活史逆転回数の世界記録を更新中

現生の多細胞動物中,生活史を複数回にわたり逆転できるのが直接証明されている種は,唯一,ベニクラゲ *Turritopsis* sp.である。しかしながら,これまでの世界記録はわずかに2度だけであったが(久保田, 2005; Kubota, 2005),演者により,2009年5月に開始した飼育・観察・実験により(久保田, 2009a,b, 2010),2010年5月上旬の時点で,雌1群体が連続して6度の生活史逆転を起こしたので,飼育方法の留意点も含め報告する。下記の主な文献も参考にされたい。

Kubota, S. 2005. Distinction of two morphotypes of *Turritopsis nutricula* medusae (Cnidaria, Hydrozoa, Anthomedusae) in Japan, with reference to their different abilities to revert to the hydroid stage and their distinct geographical distributions.

Biogeography, 7: 41-50.

久保田 信. 2009a. クラゲ類のふしぎな形態と生活史

- 不老不死のベニクラゲの神秘まで. 科学, 79(4): 386-392.

久保田 信. 2009b. 四度若返ったベニクラゲ(ヒドロ虫綱, 花クラゲ目).

日本生物地理学会会報, 64: 97-99.

久保田 信. 2010. 不老不死のベニクラゲの神秘と人類の夢. Milsil, 3(2):15-17, 表紙.



クラゲからポリプへ生活史を逆転したばかりのベニクラゲ